

抗議文

アメリカの未臨界核実験実施に抗議する 一切の各実験計画を即時中止せよ

アメリカ合衆国大統領

バラク・H・オバマ 殿

2010年10月13日

原水爆禁止神奈川県協議会

神奈川県原爆被災者の会

神奈川県生活協同組合連合会

本日付報道は、9月15日に貴国が未臨界核実験を実施していたことを報じた。24回目の未臨界核実験であり、オバマ政権下で初めての核実験である。そして計画によれば、これからあと2度未臨界核実験を実施する予定という。

とんでもないことである。信じられないことである。

今回の未臨界核実験に強く抗議するとともに、予定されている核実験計画の即時中止を要求するものである。

そもそも米政府は核実験実施前に計画を発表していた。今回それもせず、1カ月近く遅れて分かるなど、考えられないことである。すべての事態を想定し、今回の未臨界核実験の全容を情報公開せよ。

国際社会はいま、政府・自治体・市民社会一体となり核兵器禁止条約を求め、核兵器のない世界をめざしている。昨年4月、貴職がプラハで世界によびかけた「核兵器のない世界」に向けて、いままさに国連総会でこのことが議論されている真っ最中である。

その時になぜ未臨界核実験なのか。

「核大国」アメリカのおごりなのか。

ヒロシマ、ナガサキの被爆の実相、生存被爆者の命をかけた核廃絶への思い、そのことを考えると、ほんとうに怒りに身が震える。

貴職は核抑止ではなく、核廃絶の先頭に立つべきである。

以上